

# 東京日々新聞

四百九十七號



## 轉々堂主人録

入間郡の  
裁判所へ  
一同送致  
さうと  
あん



オムラ川越の多賀町に住む滝次郎清三流の名子も  
似て放蕩無頼の悪漢と云ふ三姉妹も亦愉快とす  
睦良ら依平日に着る絶えぬや或時例の口角より母と  
柱を纏つけ其面前に載きて姉妹も亦愉快とす  
醜体言語不絶多し人畜生が  
拳動の官も聴く捕へし  
入間郡の  
裁判所へ  
一同送致  
さうと  
あん

頃日専ら刊行する福澤氏が学問  
の進歩と題する教諭史第八篇の文中に  
一夫の多妻を犯せしむる畜類ありと論せ  
し中、理あると此の之獣の名を因る熊谷縣下  
婚婦のおまゆの長女のお袖次女のお蝶三人と輪交  
す

一萬齋  
後馬  
印

具足屋

渡辺

